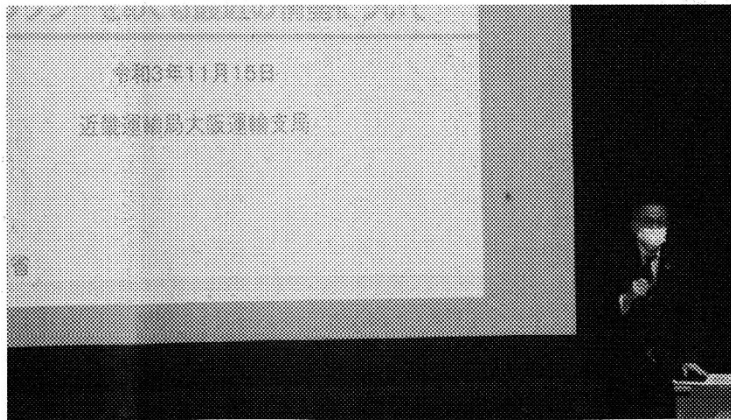


大阪タクセン指導主任者研修 UDタク車いす乗降料 本省事務連絡を説明

大阪タクシーセンター（大阪市）は15日、大阪市の大阪歴史博物館で第37回指導主任者研修会を開き、タクシー事業者の運行管理者ら71人が出席。大阪運輸



UDタクシーの料金の適切な取り扱いについて講演した伊藤大運支局長（15日、大阪市）

UDタクシーの料金の適切な取り扱いについて講演した伊藤大運支局長（15日、大阪市）

「25年の大阪・関西万博の準備に向け一刻も早い回復を願っている」と述べた。

支局の伊藤徳男支局長がユニバーサルデザイン（UD）タクシーの車いす利用客への乗降料金対応の問題、大阪医療福祉専門学校学療

法士学科の菊地淳専任教員が乗務員の健康増進体操についてそれぞれ講演した。伊藤支局長はユニバーサルデザイン（UD）タクシーの車いす利用客に対し乗降対応で追加料金を収受した事例を挙げ、「この

降は運送と密接不可分な関係とした上で、道路運送法上の手続きが不要となる「運送に直接伴うものではない料金」に該当しないと強調。「自宅からタクシーまでの移動を介助など運送（乗降含む）以外の介助サービス」は「運送に直接伴うものではない料金」に該当し、今回の本省事務連絡での「認めない料金収受」の対象外であることを事例を示し講義した。

伊藤支局長は「乗客から大阪のタクシーはよかったと評価されるように大阪のタクシーのレベルアップを図っていただきたい」と求めた。

大阪医療福祉専門学校学療法士学科の菊地淳専任教員は目や肩の症状に応じたタクシー乗務員向けの体操を指導。「親指と人差し指付け根やひじ周辺マッサージはハンドルの操作の疲労感を軽減させる」とし、出席した管理者らと実際に体操した。

冒頭、大阪タクシーセンターの田村充啓専務理事があいさつし、新型コロナウイルスの影響で利用者の苦情が「今年6～8月で2件、9月～10月は0件で驚いた」と述べるとともに、